

都市再生整備計画(第1回変更)

だいおうだにうんどうこうえんちく
大王谷運動公園地区

みやざきけん ひゅうが
宮崎県 日向市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	宮崎県	市町村名	ひゅうがし 日向市	地区名	だいおうだにうんどうこうえん ちく 大王谷運動公園地区	面積	11.3	ha
計画期間	令和	5	年度	～	令和	9	年度	
				交付期間	令和	5	年度	～
					令和	9	年度	

<p>目標</p> <p>大目標：あふれる笑顔で多世代がつながり、将来の安全性を見据えたスポーツレクリエーション拠点(災害避難拠点)の実現</p> <p>目標1：市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しむ空間の創出</p> <p>目標2：様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点の創出</p> <p>目標3：避難拠点施設の整備などによる防災機能強化</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>当地区は、大王谷運動公園の南部や西部に住宅地が集中するほか、本市の主要幹線道路である国道10号が縦断している。また、国道10号北部に農業や集落、森林地帯が広がり、東部は重要港湾細島港に面している。これらの特性から、大王谷地域は、自然と住環境の調和のとれた地域として位置づけられる。</p> <p>また、野球場などのスポーツ施設が集積していることに加え、高台で津波浸水区域外に位置する当地区は、「日向市都市計画マスタープラン」(平成30年度策定)及び「日向市立地適正化計画」(令和2年度策定)の都市機能誘導区域において「スポーツレクリエーション拠点(災害避難拠点)」として位置づけられており、スポーツレクリエーション機能や防災機能(避難場所等)の整備を図ることとされている。</p> <p>一方、まちなかにある現在の体育センター及び武道館は、建設から約50年が経過しており、老朽化に加え、耐震性にも課題があることから、利用者の安全性の確保が急務となっている。そこで、野球場や陸上競技場などのスポーツ施設が集積していることに加え、高台で津波浸水区域外に位置する防災上の安全性が高い場所であり、かつ「スポーツレクリエーション拠点(災害避難拠点)」として位置づけられている当地区を移転先として中長期的な避難所機能を有する総合体育館の建設を実施することで、都市機能の拡散防止とスポーツレクリエーション機能及び防災機能の向上、更には公共不動産の有効利用を図る。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>日向市では、昭和初期から、土地区画整理事業を中心とした基盤整備の推進により、コンパクトなまちづくりに取り組み、現在では、市街化区域内に総人口の約8割が居住し、公共交通や医療機関への利便性が高いコンパクトな都市が概成されている。</p> <p>その一方で、本市の人口は、1990年頃から減少が始まり、2045年には、現人口から約24%も減少した45,500人となることが推計されており、人口減少・高齢社会に対応した都市の形成が求められている。また、本市は、市街化区域の76%が津波浸水想定区域であることから、防災対策の更なる推進も必要となっている。</p> <p>このような背景を踏まえ、本市では、立地適正化計画を策定し、拠点性の向上と連携性・安全性の強化による持続可能な都市構造の形成を進めているところである。同計画において、大王谷地区(以下、「当地区」という。)を都市機能誘導区域として位置付けており、高台に位置する貴重な公的空間であることから、南海トラフ地震の発生による津波被害に備え、避難拠点として適した区域である。また、野球場などのスポーツ施設がすでに集積していることから、スポーツレクリエーション拠点としての位置づけもある。</p> <p>そこで、当地区外にある老朽化した日向市体育センター及び武道館を当地区へ移転建て替えし、中長期的な避難所機能を有する総合体育館を建設することで、スポーツレクリエーション機能及び防災機能の向上を図る。</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は、市街化区域の76%が津波浸水想定区域であることから、高台における防災上の安全性が高い避難場所を確保する必要がある。 「コンパクトシティ」の形成のため、都市機能を都市機能誘導区域内に誘導、集約することにより、各種サービスの効率的な提供と維持を図る必要がある。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①第2次日向市総合計画(2021～2024)(令和3年2月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来へつなげる人づくり戦略 活力を生み出すにぎわいづくり戦略 笑顔で暮らせるまちづくり戦略 <p>②日向市都市計画マスタープラン(平成30年度策定)</p> <p>【運動公園を核とした自然環境と共生するまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大王谷運動公園を拠点とした周辺緑地と水辺空間のネットワーク化を図る。 亀崎地区及び住宅団地周辺の良好な住環境の保全を図りつつ、水辺空間の利用増進を推進する。 自然環境との共生を推進し、活気あるまちづくりを図ります。 <p>③日向市立地適正化計画(令和2年度策定)</p> <p>【拠点性を向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市が有する人財(NPO・事業者・市民)やフィールド(まちなか空間)を活かした各拠点への都市機能の集約化により、幅広い世代が暮らし続けていける活気のあるコンパクトな都市の形成を目指す。 <p>【連携性を強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各拠点が公共交通機関や道路によるネットワークで結ばれた「多極ネットワーク型」都市構造の形成を目指す。 <p>【安全性を確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市が抱える災害リスクに対し、ハード・ソフト両面での防災・減災対策に取り組み、安心して住み続けることができる都市構造の形成を目指す。

都市構造再編集支援事業の計画

都市機能配置の考え方

日向市立地適正化計画に掲げる「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けて、居宅や都市施設の集約により、拠点の魅力の向上と良好な生活環境の実現と併せて、交通ネットワークにより結ばれた多極型コンパクトシティの実現を目指す。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

まちなかにある体育センター及び武道館は、建設から約50年が経過しており、老朽化に加え、耐震性にも課題がある。そこで、高台で津波浸水区域外に位置する防災上の安全性が高い場所であること、また、野球場や陸上競技場などのスポーツ施設が集積する「スポーツレクリエーション拠点」として位置付けている当地区を移転先とし、中長期的な避難所機能を有する総合体育館を建設することで、将来の安全性を見据えたスポーツレクリエーション拠点（災害避難拠点）の実現を目指す。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公園の利用者数	人／年	大王谷運動公園の利用者数	利用者の増加がスポーツレクリエーション拠点としての活気や賑わいにつながるから設定	99,600人／年	R4年度	117,300人／年	R9年度
市街地の中長期的避難施設への想定収容人数	人	市街地において、津波、洪水、土砂災害時に中長期的避難となる施設の想定収容人数	避難拠点施設の整備による防災機能強化として中長期的避難所機能を有することから設定	3,760人	R4年度	4,270人	R9年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しむ空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内スポーツ施設の拠点として健康増進や生きがいづくり、競技力向上など、日常的なスポーツ活動の場として活用 ・レクリエーションやスポーツクラブ等スポーツへの関わりの場として活用 ・健康・体づくりにも励む市民同士の交流拠点として活用 ・市民の誰もが、多世代にわたって、魅力的で気軽に利用できる憩いの場として利用 	<p>【基幹事業】(公園)運動施設 【基幹事業】(高次都市施設)地域交流センター 【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報案内板 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)総合体育館PR活動の実施</p>
<p>【様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設では開催できなかった地区大会や県大会、またはそれ以上の大規模な大会の会場として活用 ・スポーツ交流の場、スポーツ推進イベントの場として活用 ・スポーツに限定しない各種イベントや集会の開催場所として活用 	<p>【基幹事業】(公園)運動施設 【基幹事業】(高次都市施設)地域交流センター 【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報案内板 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)総合体育館PR活動の実施</p>
<p>【避難拠点施設の整備などによる防災機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急支援物資の保管場所として利用 ・中長期避難所としての活用 ・隣接する施設との複合的な活用 	<p>【基幹事業】(公園)運動施設 【基幹事業】(高次都市施設)地域交流センター 【基幹事業】(地域生活基盤施設)防災備蓄倉庫</p>
<p>その他</p>	
<p>【日向市都市計画マスタープラン】(平成30年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆運動公園を核とした自然環境と共生するまち ・大王谷運動公園を拠点とした周辺緑地と水辺空間のネットワーク化を図る。 ・亀崎地区及び住宅団地周辺の良好な住環境の保全を図りつつ、水辺空間の利用増進を推進する。 ・自然環境との共生を推進し、活気あるまちづくりを図ります。 <p>【日向市立地適正化計画】(令和2年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆拠点性を向上 ・本市が有する人財(NPO・事業者・市民)やフィールド(まちなか空間)を活かした各拠点への都市機能の集約化により、幅広い世代が暮らし続けていける活気のあるコンパクトな都市の形成を目指す。 ◆連携性を強化 ・各拠点が公共交通機関や道路によるネットワークで結ばれた「多極ネットワーク型」都市構造の形成を目指す。 ◆安全性を確保 ・本市が抱える災害リスクに対し、ハード・ソフト両面での防災・減災対策に取り組み、安心して住み続けることができる都市構造の形成を目指す。 <p>【日向市総合体育館整備基本計画】(令和4年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆未来へ向かい あふれる笑顔で多世代がつながる 海と緑に囲まれた”健康長寿・スポーツ推進”拠点 ・市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しみ、利用できる体育館 ・様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点となる体育館 ・災害時の拠点施設となる体育館 <p>【日向市津波防災地域づくり推進計画】(平成28年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人・まち・地域の協働による、安全・安心で持続可能なまちづくり ・本市の持続ある発展と津波から市民の生命や財産、産業を守るための防災力の向上の両輪によって「優しく 強く 温かい 人とまち 日向」を実現していく。 <p>【日向・東臼杵地域公共交通網形成計画】(平成27年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆拠点形成及び地域公共交通に係る方針 ・生活環境や都市機能の改善を行うとともに、医療や福祉、商業等の機能が集約され、特に高齢者や子育て世代が安心して快適な生活が送れるコンパクトな拠点づくり 都市機能拠点(中心市街地)・日向市駅周辺 生活拠点・市街地部(大王谷周辺、新財布周辺、曾根町周辺、財光寺南周辺)、南部(美々津支所、岩脇支所周辺)、東部(東郷総合支所周辺) ・小さな拠点・大王谷・新財布・曾根町・財光寺南周辺(市街地部の生活拠点) <p>【官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働による“花のあふれるまちづくり”の推進 (里親団体:大王さくら会 大王谷憩いの広場花壇) 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	4,036	交付限度額	2,018	国費率	0.5
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		運動施設	日向市	直	5,596㎡	R5	R8	R5	R8	3,320	3,320	3,320		3,320	5.8
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		情報案内板	日向市	直	4箇所	R5	R8	R5	R8	5	5	5		5	
		防災備蓄倉庫	日向市	直	105㎡	R5	R8	R5	R8	10	10	10		10	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター	地域交流センター	日向市	直	1,174㎡	R5	R8	R5	R8	696	696	696		696	
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										4,031	4,031	4,031	0	4,031	R5.1月予定

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業		総合体育館PR活動の実施	日向市	直	1式	R8	R9	R8	R9	5	5	5		5
合計										5	5	5	0	5

事業	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
居住誘導促進事業													
合計									0	0	0	0	0
												合計(A+B+C)	4,036

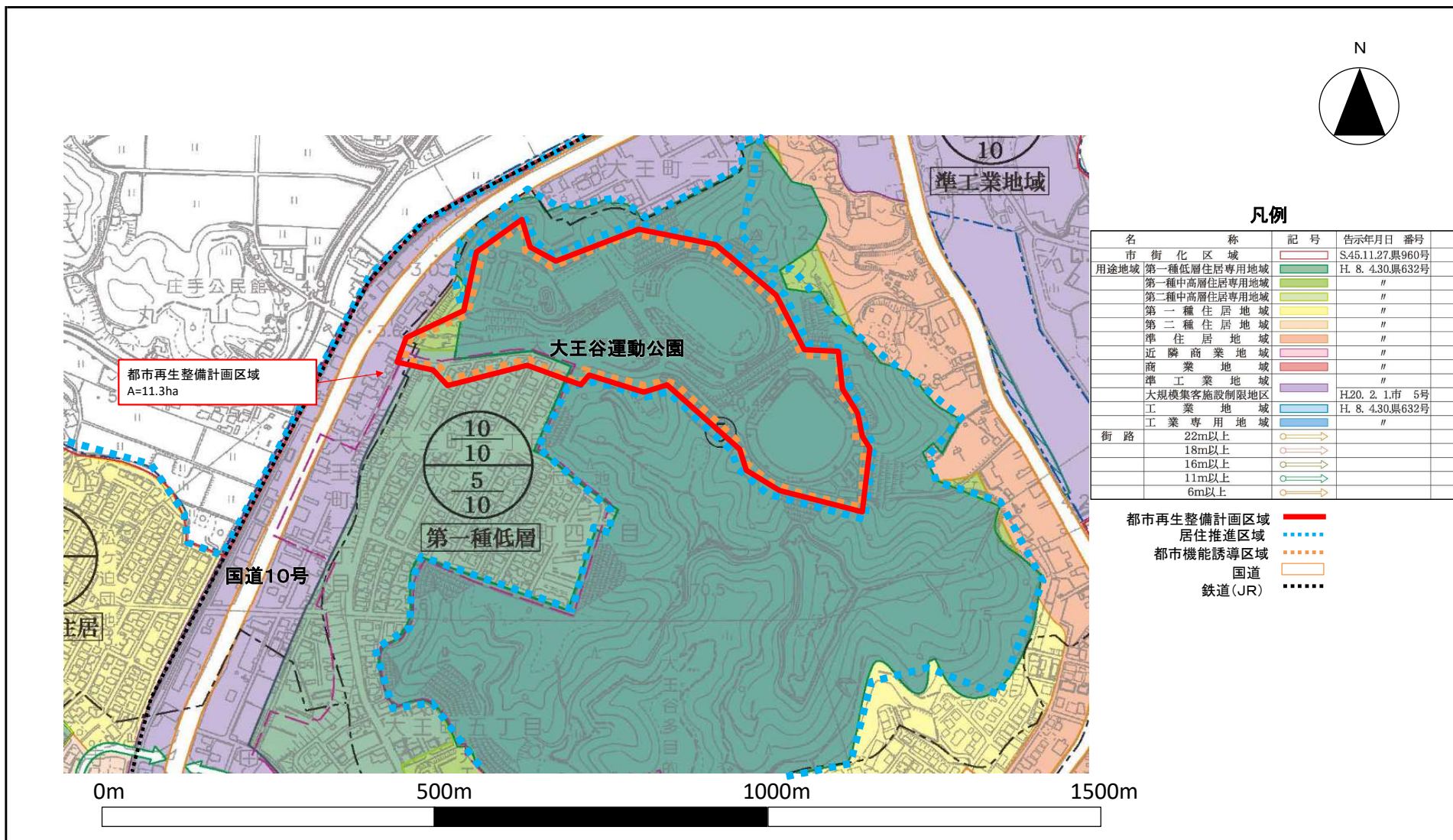
大王谷運動公園地区(宮崎県日向市)

面積

11.3 ha

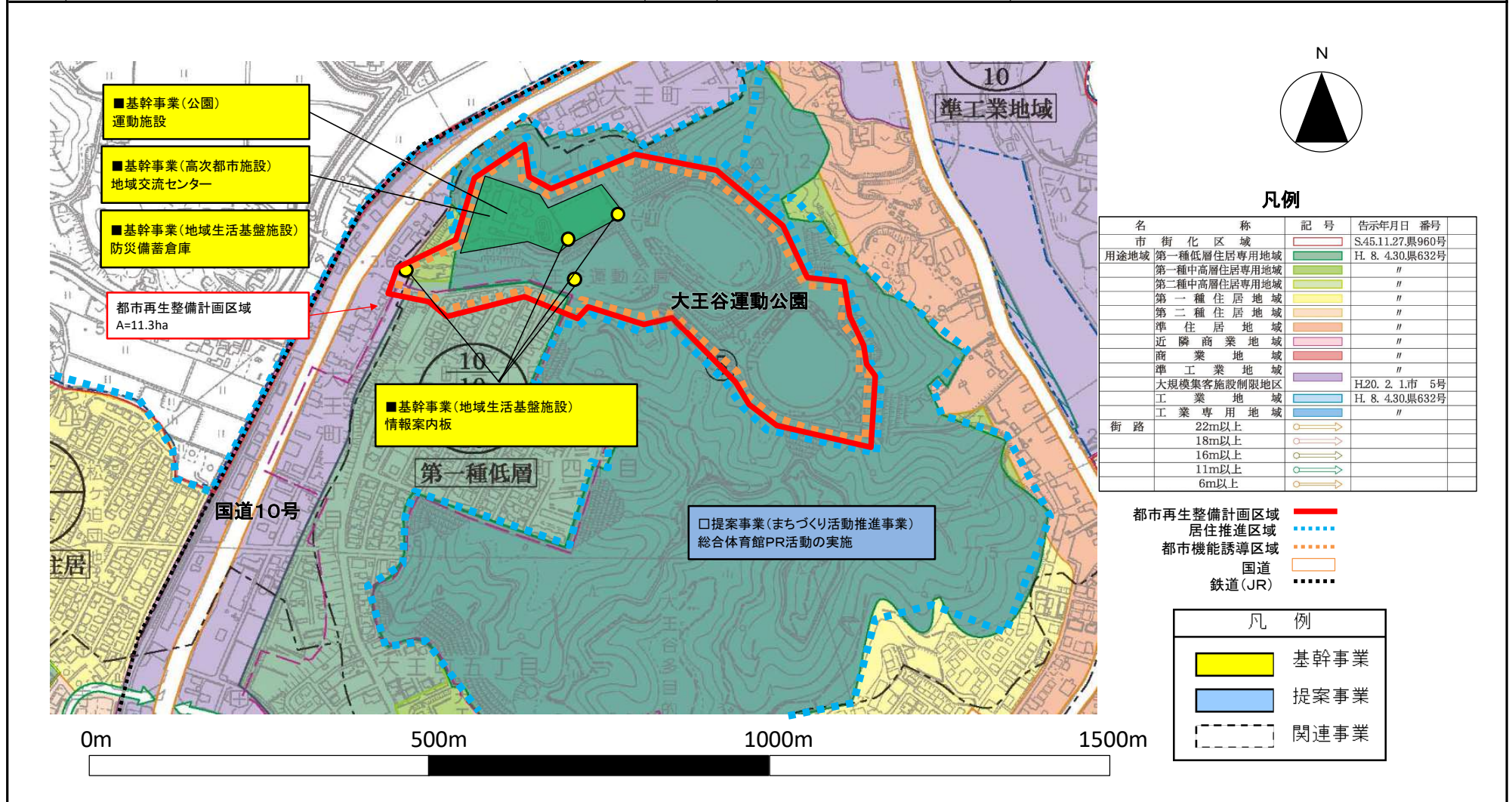
区域

日向市大字日知屋字大王谷、大浜、下スルギ、上スルギ、寺ノ上、椎ノ木ケ花



大王谷運動公園地区(宮崎県日向市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: あふれる笑顔で多世代がつながり、将来の安全性を見据えたスポーツレクリエーション拠点(災害避難拠点)の実現 目標1: 市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しむ空間の創出 目標2: 様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点の創出 目標3: 避難拠点施設の整備などによる防災機能強化	代表的な指標	公園の利用者数 (人/年)	99,600人/年 (R4年度)	→	117,300人/年 (R9年度)
			市街地の中長期的避難施設への想定収容人数 (人)	3,760人 (R4年度)	→	4,270人 (R9年度)
					→	



0m

500m

1000m

1500m